


★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆

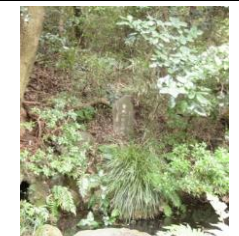
モデルコース上の観光スポット

日本山岳界の先駆者 岡野金次郎記念碑



岡野金次郎は明治7年、現在の横浜市に生まれた。後に日本山岳会初代会長となる小島烏水とは、明治27年の徴兵検査で出会った。明治35年、岡野と小島は日本人登山家として初めて槍ヶ岳への登頂を果たした。その翌年、岡野らは自分たちより前に槍ヶ岳に登ったウェストン（日本アルプスの名付け親）と出会い、日本にも山岳会をつくることを勧められる。これが日本山岳会の設立につながった。昭和15年、平塚に移り住んだ岡野は、戦災に遭い平塚を離れるが、28年には再び平塚に戻る。そして昭和33年に亡くなるまで平塚に住み続けた。富士山が好きだった岡野は、散歩に出かけては平塚海岸や八幡山から富士山を眺めていたといわれている。

曾我十郎硯水の碑




湘南平テレビ塔の東側に「曾我十郎の硯水」と呼ばれる小さな池がある。この水で手習いをする上達が早いと言われている。また弟の五郎がこの山を駆け上ったとき、馬のために水を求めて、強く足を踏みつけると、こんこんと清水が湧き出たとところともいわれている。

★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆


モデルコース上の観光スポット

鏡山お初の墓



要法寺西側の墓地に「鏡山お初」のモデルになったといわれる、本名「松田たつ」の墓が立っている。平塚宿松田久兵衛の娘たつは、大久保長門守の江戸屋敷の中隠岡本みつ女に奉公していたが、みつ女が年寄沢野から侮辱を受け自害したため、たつは直ぐに沢野を訪ね、みつ女の小脇差で仇を討ったといわれている。歌舞伎で上演された「加賀美山旧錦絵」はこの義女たつの話が基になっているといわれている。

平塚の塚



伝承によると桓武天皇の孫高見王の娘マサコが東国に向かう途中、天安元(857)年2月この地で亡くなったので、ここに埋葬した。土を盛って塚としたが、その上が平らたくなり、その塚の主が平氏であることから、その塚を平塚と称えたといい。この塚は平塚の地名のおこりであるとの言い伝えがある。

携帯電話で乗りたいバスの待ち時間がわかります！



アドレス <http://dia.kanachu.jp/>
QRコード

★問合せ 神奈川中央交通(株) バス案内センター
0463-22-8833
(平日 9:00~17:25)

★参考文献・資料

- 湘南平塚観光マップ
- 平塚市観光協会 HP
- 平塚市郷土誌事典
- 平塚の文化財
- 平塚市 HP
- 歴史的文化遺産整備事業説明板
- 平塚の戦争遺跡

このリーフレットは、平成22年度開催の「まちづくりわいわい塾 路線バスでめぐる市内観光プランをつくらう！」の成果をもとに作成をしました。

発行 平塚市 まちづくり政策部 まちづくり政策課
TEL 0463-23-1111 内線2414
協力 東海大学 観光学部
平塚市観光協会
神奈川中央交通株式会社
平塚市 経済部 商業観光課

14時	45	45	休日
13時			
12時			
11時	45	45	休日
10時			
9時			

系統	行先	運賃	所要
平35	平塚駅北口	260円	18分

湘南平⇒平塚駅北口

14時	00 38	00 38	08 38	08 38
13時	00 08 38	08 43	13 38 55	13 38 55
12時	38	13 38	08 38	08 38
11時	08 15 38	13 43	08 38	08 38
10時				
9時				

系統	行先	運賃	所要
平43 平47 平48	平塚駅北口	200円	5分

大磯駅⇒古花水

11時				
10時	12	12	休日	
9時	00	00		
8時				

系統	行先(経由)	運賃	所要	乗場
平35	湘南平(花水橋)	260円	22分	3

平塚駅北口⇒湘南平

※2011/1/17時点の時刻です。以後改正されている場合があります。まづので、ご注意ください。

★☆☆ 時刻表 ☆☆☆

路線バスでめぐる気軽なお出かけプラン

湘南平でスカイツリーを見よう!?



湘南平・平塚宿方面
平塚市 まちづくり塾

- 『平塚駅北口』/バス停 14:41
- ↑ (平塚宿周辺を散策しながら平塚駅へ徒歩で) 13:30
- 『古花水』/バス停
- ↑ (平43平塚駅北口行 運賃200円) 13:13
- 『大磯駅』/バス停 13:13
- ↑
- 大磯駅近<で風食 12:10
- ↑ (徒歩50分) 11:20
- 湘南平下山 11:20
- 展望台からスカイツリーが見えるかも?
- (見学40分) 10:35
- 『湘南平』/バス停
- ↑ (平35湘南平行 運賃260円) 10:12
- 『平塚駅北口』/バス停

★☆☆ モデルコース ☆☆☆

〔/バスは休日の時刻です〕

★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆

モデルコース上の観光スポット

湘南平 ※平塚八景

湘南平は標高179mの丘陵にあり、昔は「アワタラヤマ（泡垂山）」や「千疊敷」と呼ばれていたが、戦後「湘南平」と命名された。神奈川の景勝50選の一つであり、三浦・房総半島から伊豆大島、丹沢連峰から富士、箱根を一望できる景勝地である。またここは大磯町とまたがる高麗山公園でもあり、桜、ツツジ、アジサイなどが植栽され、お花見時は多くの人々で賑わっている。


★湘南平 展望台からの眺め



★☆☆ 観光ガイド ☆☆☆


モデルコース上の観光スポット

湘南平の高射砲台座跡

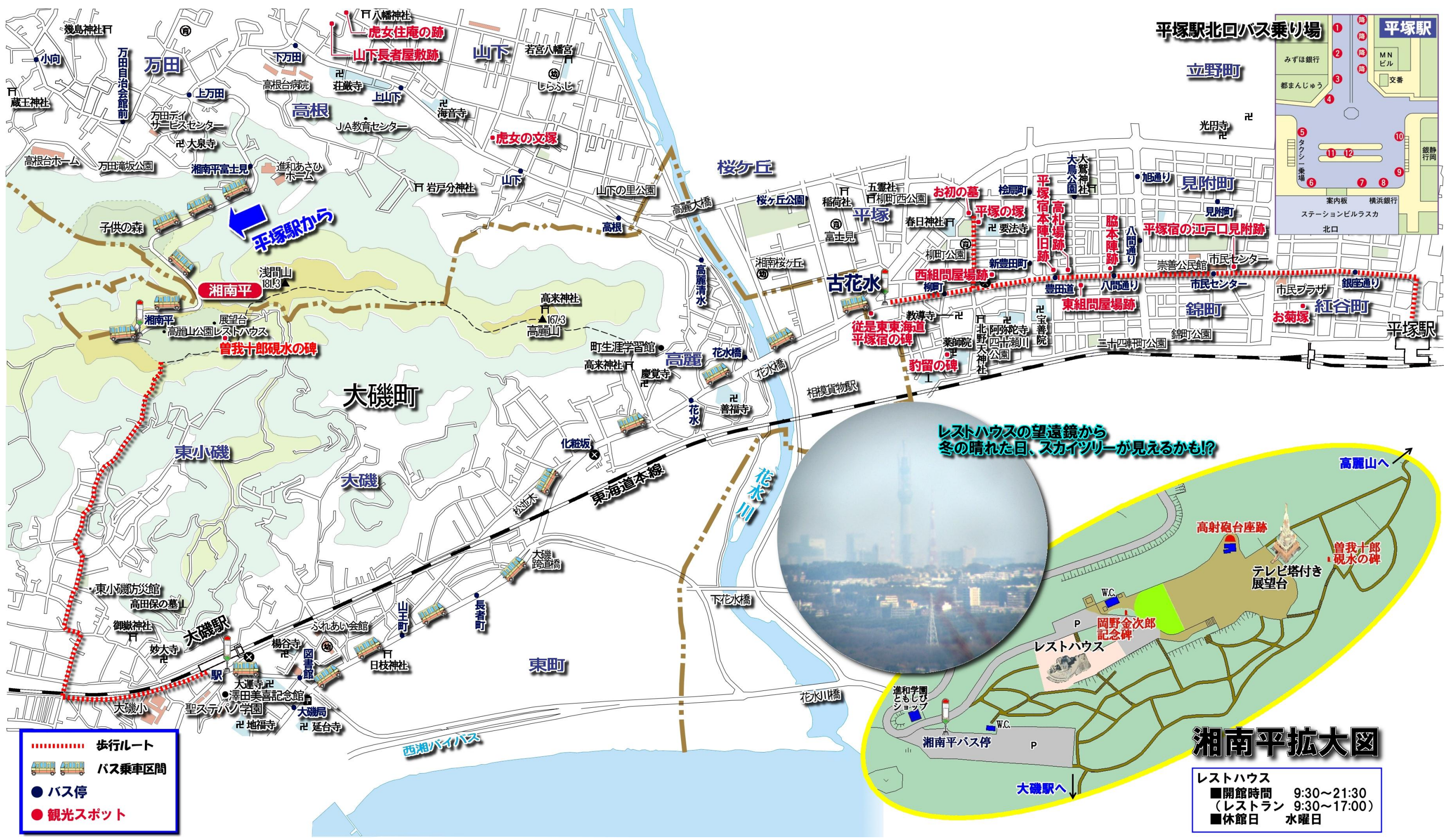


昭和16年の日米開戦後、湘南平の山頂に千疊敷山砲台が海軍により設置された。昭和20年の平塚大空襲における米軍の報告では、平塚上空でかなりの対空砲火の存在を確認しているが、精度が悪く効果がなかったとしている。砲台の建設には大磯国民学校生徒や平塚高等女学校生徒の勤労奉仕により、また現在のバス路線は近村の住民の勤労奉仕によって出来上がった。

平塚宿加藤本陣跡



本陣とは参勤交代の大名などが宿泊した宿泊所である。平塚宿には他に本陣の補助的な役割を持つ脇本陣が一軒、庶民が宿泊する旅籠屋が54軒あった。平塚宿本陣の当主は代々加藤七郎兵衛を名乗っていた。敷地は600坪、建坪は163坪で、豪華なつくりであったと伝えられているが、県内の他宿の本陣と比較すると小規模であったことから宿泊よりも主に休息に利用されたと考えられる。文久3年には将軍家茂が、明治元年には明治天皇が休息している。平塚宿は空襲により柳町の一部を除いて全て焼失し、かつての面影はほとんど残っていないが、史跡の碑や説明板が幾つか建てられている。



- 歩行ルート
- - - - - バス乗車区間
- バス停
- 観光スポット

レストハウス
 ■開館時間 9:30~21:30
 (レストラン 9:30~17:00)
 ■休館日 水曜日